

目次 contents

03 水と緑と笑顔が輝くまち 東大和

04 子どもたちの笑顔があふれるまち

05 健康であたたかい心のかよいうまち

06 安全・安心で利便性が高いまち

07 心豊かに暮らせるまち

08 環境にやさしいまち

09 暮らしと産業が調和した活力あるまち

10 東大和の四季

12 東大和市 50 年のあゆみ

16 市制 50 周年記念事業

岩隈久志氏(元プロ野球選手)からのメッセージ

17 I 市制 50 周年記念式典

18 II 子どもと大人のやくそく (子ども・子育て憲章)

20 III 健幸都市宣言

22 IV 平和事業

24 V まちフォトコンテスト

25 議会

26 東大和の今と昔

28 HIGASHIYAMATO CITY MAP

水と緑と 笑顔が輝くまち 東大和

市では、令和 2 年 12 月に、令和 4 年度を初年度とする 20 年間の構想「東大和市第三次基本構想」を策定しました。その中で、私たちが目指す将来の都市像を「水と緑と笑顔が輝くまち 東大和」としています。

この都市像には、多摩湖の「水」や狭山丘陵の「緑」など、豊かな自然と共生した良好な環境の中で、市民の皆さんがいそいそと活動する姿を「笑顔」という言葉で表すことにより、少子高齢化と人口減少が進展する中にあっても、活力あるまち、持続可能なまちを目指す想いが込められています。

第三次基本構想では、まちづくりを進めていく主体を「私たち」としています。この「私たち」は、東大和市における活動の主体である「市民の皆さん」、「事業者の方々」、そして「市」の全体を指しています。

この基本構想を令和 4 年度からの新たな指針として、私たちは、市制 50 周年を節目に、さらなる未来に向けて、まちづくりを進めていきます。



📷 マークは東大和市まちフォトコンテスト入賞・入選作品です

健 康であたかい心のかよいあう
まち

市では、地域での市民の暮らしを支えるための保健・福祉施策を具体化する計画として、令和3年度を計画始年度とする「第6次東大和市地域福祉計画」、「東大和市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」、「第2次東大和市障害者総合プラン」、「第2次東大和市健康増進計画」、「東大和市自殺対策計画」を策定しました。

この各福祉計画の中の共通事項として、新しく「地域共生社会」というフレーズをかかげています。これは、地域のあらゆる市民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる社会のことです。

市民が主体的に活躍できる仕組みづくりや、協働して助け合うことで従来までの保健・福祉制度の縦割りを超える、全ての市民のニーズに対応できる相談支援やサービス提供の体制づくりを目指すことで、人と人が顔を合わせ、つながり合うことのできる「地域共生社会」を目指していきます。



障がい者青年教室ビートクラブの活動（福祉祭）



東大和元気ゆるゆる体操普及・啓発活動（うまかんべえ～祭）



子どもたちの笑顔があふれるまち

子育て支援

市では、「あふれる笑顔ですべての子どもたちの豊かな心と幸せを育む」子育てしやすいまちの実現を目指し、子ども・子育て支援施策を推進しています。

令和2年3月には、「東大和市子ども・子育て未来プラン」を策定し、市民に子ども・若者や子育て支援についての理解と認識を深めていただくとともに、家庭、教育・保育施設、学校、事業者、地域の関係者等の皆様と市が相互に協力し、地域社会が一体となって取り組んでいけるまちを目指していきます。



4 東大和市オリジナル出生届を作成（平成31年1月）



学校給食センター（平成29年4月開設）



うまべえイラスト入りオリジナルの器

学校教育

学校教育の質の向上に努め、良好な学習環境のもと、児童・生徒一人ひとりの意見や個性を尊重しながら、学ぶ喜びを実感できる学校教育を推進しています。

また、全ての児童・生徒が未来を切り拓くための資質・能力として「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を身に付け、一人ひとりが人間性豊かにたくましく成長することができるまちづくりを進めていきます。

心豊かに暮らせるまち

市では、市民が生涯にわたる学習活動を通して豊かな人生を送ることができるよう、「豊かな人間性と文化をはぐくむまちづくり」を基本理念とした「東大和市生涯学習・生涯スポーツ推進計画」を策定し、様々な事業に取り組んでいます。

郷土博物館では、郷土の歴史、民俗、自然に関する学習のみならず、併設するプラネタリウムで、宇宙に関する学習も行うことができます。

公民館では、子どもから大人までを対象とした幅広い講座を行い、学習機会を創出しています。

図書館では、多くの蔵書を有するほか、インターネットを通じて資料を探すこともでき、学習するための資料情報の拠点となっています。

また、いつでも、だれでも、どこでもスポーツが楽しめるよう、市民体育館をはじめとする体育施設等があり、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、スポーツ機会の拡大、環境整備等に取り組んでいます。

イベントとして、市民文化祭や公民館まつりなどの各種文化イベント、ふれあい市民運動会、ロードレース大会、多摩湖駅伝大会などの各種スポーツイベントを開催しています。



郷土博物館



夏休み☆みんなで作る遊空間オープニング (中央公民館)



中央図書館



安全・安心で利便性が高いまち

防災・防犯

大地震や風水害などの自然災害が発生した場合でも、その被害を最小限に食い止めることができるよう、自助・共助・公助の理念のもとに、それぞれの主体がその役割を果たし、自然災害などから多くの生命や財産を守ることができる防災・減災施策を進めています。また、市民の防犯意識の向上や、地域ぐるみで犯罪を未然に防止できる環境づくりなどの防犯対策に取り組み、誰もが安全で、安心して暮らすことができるまちづくりを進めています。



総合防災訓練

都市づくり・道路・交通

賑わい、交流、活力のある都市づくりや良好な住環境づくりに取り組み、快適で利便性が高く、住みたい・住み続けたいと思えるような魅力的なまちづくりを進めています。また、良好な道路環境や交通環境とするための取組を推進し、誰もが安全で快適に移動することができるまちづくりを進めています。



市制50周年を記念して作られたデザインマンホール (左)



暮ら

市の魅力を広く内外に発信し、にぎわいの創出による地域の活性化を図る東大和市。

市民や、東大和市を訪れる多くの人々の協力により「豊かな暮らしの実現」をめざしています。

新鮮で安全・安心な地元の農産物の生産は、緑の景観を形成することや、収穫体験の場の提供など多面的に活かされています。

創業者支援や創業に関する窓口相談・経営相談など、商工会と連携を図り、市内における商業振興の活性化に取り組んでいます。

市の魅力を広く知ってもらうとともに、来訪者に東大和市を楽しんでもらうことを目的として、うまかんべえ～祭の開催や観光マップの作成に取り組んでいます。

更に、観光キャラクターうまべえを活用し、市の認知度向上を図るなど、まちや人が元気になるような事業に取り組んでいます。



東やまと産菜まつり



狭山緑地東口

環

この記念誌の表紙を飾る狭山丘陵と多摩湖は、東大和市の緑と水のシンボルです。野火止用水、空堀川、公園・緑地、街路樹など、貴重な緑と水を保全し、自然と共生したまちづくりを進めています。

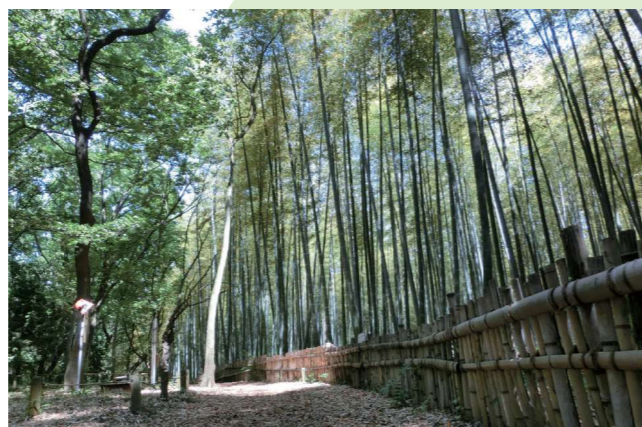
フードドライブや不用食器のリユース事業、民間事業者と連携したペットボトル自動回収機の設置など、廃棄物の発生・排出抑制とリサイクルが着実に進んでいます。市民・事業者と協働した取組を一層推進し、廃棄物の少ないまちづくりを進めています。

良好な環境を次の世代に引き継いでいくためには、地球温暖化対策への積極的な取組が欠かせません。

再生可能エネルギーの利用と省エネルギーを促進し、環境負荷の少ないまちづくりを進めています。



ペットボトル自動回収機を利用する市民



狭山緑地・竹林



うまかんべえ～祭